



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月12日

上場会社名 森永製菓株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2201 URL <https://www.morinaga.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 太田 栄二郎
 問合せ先責任者（役職名） コーポレートコミュニケーション部長（氏名） 岡本 奈津子（TEL） 03-3456-0150
 半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	118,845	8.4	13,855	△2.2	14,099	△2.1	10,631	3.6
2024年3月期中間期	109,608	11.4	14,167	38.5	14,397	37.1	10,260	55.8

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 12,022百万円(△9.6%) 2024年3月期中間期 13,295百万円(87.6%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
2025年3月期中間期	円 銭 118.35	円 銭 —
2024年3月期中間期	円 銭 111.28	円 銭 —

(注) 2024年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり中間純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年3月期中間期	百万円 220,124	百万円 137,217	% 61.6
2024年3月期	223,644	132,653	58.7

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 135,684百万円 2024年3月期 131,202百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 55.00	円 銭 55.00
2025年3月期	—	0.00			
2025年3月期(予想)			—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	227,000	6.4	21,300	5.1	21,700	3.1	16,700	10.2	186.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.12「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期中間期	91,774,538株	2024年3月期	92,714,538株
2025年3月期中間期	2,089,050株	2024年3月期	2,105,446株
2025年3月期中間期	89,831,311株	2024年3月期中間期	92,205,964株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※2024年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期中平均株式数を算定しております。

なお、期末自己株式数には、役員報酬BIP信託が保有する当社株式 (2025年3月期中間期80,784株、2024年3月期68,362株) が含まれております。また、役員報酬BIP信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めております。

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、適正な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。詳細は添付資料P.5「1. 当中間期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 中間連結貸借対照表	6
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(会計方針の変更)	12
(セグメント情報等)	13
(収益認識関係)	14
3. 補足情報	15

1. 当中間期決算に関する定性的情報

従来、「通販事業」の海外向けの売上高を「中国・台湾・輸出等」の区分に含めておりましたが、当中間連結会計期間の期首より「通販事業」の区分に含める方法に変更したことに伴い、以下の比較分析において区分変更後の数値で前中間連結会計期間との比較・分析を行っております。

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間の我が国の経済は、インバウンド消費の増加や人流の回復による需要拡大により景気は緩やかに回復しております。一方で、不安定な国際情勢による景気減速リスクに加え、原材料価格の高騰や円安の進行による物価上昇が消費者心理に影響を与えるなど、事業活動を取り巻く環境は依然として不確実な状況が続いております。

このような中、当社グループは「2030経営計画」の達成に向けて、その道筋をつくる2ndステージとして「2024中期経営計画」を策定いたしました。飛躍に向けた成長軌道の確立に向けて成長性と資本収益性の好循環を生み出すべく、各事業の強化を図っております。

その結果、主に菓子食品事業、冷菓事業が好調であったことから、売上高は1,188億4千5百万円と前年同期実績に比べ92億3千7百万円(8.4%)の増収となりました。

損益については、増収効果及び価格改定効果がありましたが、原材料価格等の高騰や経営基盤の強化に向けたDXや人的資本への投資などにより、営業利益は前年同期実績に比べ3億1千2百万円(2.2%)減益の138億5千5百万円、経常利益も前年同期実績に比べ2億9千8百万円(2.1%)減益の140億9千9百万円となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、政策保有株式の売却に伴う特別利益計上などにより前年同期実績に比べ3億7千1百万円(3.6%)増益の106億3千1百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<食料品製造>

菓子食品事業

ビスケットカテゴリーでは、「森永ビスケット」は、「ムーンライト」をはじめとした既存品が好調に推移する中、9月に実施した価格改定により一時的な店頭露出機会の減少もありましたが、ブランド全体で前年同期実績を上回りました。

キャンディカテゴリーでは、「ハイチュウ」は2月にブランドロゴの英語表記への変更を実施し、4月に実施した価格改定後も引き続き好調に推移しました。「森永ラムネ」は、夏場の受験生に向けたプロモーションを実施し、パウチ形態の「大粒ラムネ」、ボトル形態いずれも好調が継続し、前年同期実績を大きく上回りました。

チョコレートカテゴリーでは、「カレ・ド・ショコラ」は、ハイカカオを中心に基幹品の好調が継続し、前年同期実績を上回りました。「ダース」は、基幹品の「ダース<ミルク>」「白いダース」が好調に推移したほか、「香るダース」「焼きダース」など新たな需要を獲得するブランドエクステンション品の売上も寄与し、前年同期実績を上回りました。「チョコボール」は、大人向けの「大玉チョコボール」が苦戦する一方、基幹品は価格改定後も堅調に推移し、前年同期実績を上回りました。

食品カテゴリーでは、「森永ココア」は、引き続き健康ブランドとしての訴求に取り組む中、SNSやメディアにおけるダイエット効果に関する露出が継続し、引き続き好調に推移しました。「森永甘酒」は、前年同期実績を下回りました。

なお、原材料等のコストアップに対する収益改善策として、4月にキャンディ及びチョコレートカテゴリーの一部商品、9月にビスケット及びチョコレートカテゴリー、ココアや甘酒の一部商品において価格改定・内容量の減量を実施しております。

これらの結果、菓子食品事業全体の売上高は386億6千3百万円と前年同期実績に比べ27億4千4百万円(7.6%)増となりました。

損益については、原材料価格の高騰を収益性の高いキャンディカテゴリーを中心とした増収及

び価格改定効果で打ち返し、営業利益は前年同期実績に比べ1億6千5百万円(10.3%)増益の17億7千1百万円となりました。

冷菓事業

「ジャンボ」グループは、訪日外国人向けのプロモーションをはじめ、断続的な話題喚起に取り組みました。また、シニアに向けたプロモーションの実施など、さらなる購買層の拡大に取り組み、グループ全体で前年同期実績を上回りました。「板チョコアイス」は、“夏季限定”品質の好評により盛夏期も好調に推移したほか、9月に発売した「白い板チョコアイス」の販売好調も寄与し、前年同期実績を大きく上回りました。「ザ・クレープ」は、デザート感をより向上させた品質変更とパッケージのリニューアルが奏功し、前年同期実績を大きく上回りました。「アイスボックス」は、盛夏期における熱中症対策需要の喚起など、引き続き喫食シーンの拡大に取り組み、好調に推移しました。

なお、原材料等のコストアップに対する収益改善策として、主力品について、9月に価格改定を実施しております。

これらの結果、冷菓事業全体の売上高は305億7千5百万円と前年同期実績に比べ25億7千7百万円(9.2%)増となりました。

損益については、増収及び価格改定効果がありましたが、原材料価格の高騰の影響が大きく、営業利益は前年同期実績に比べ4億1百万円(8.8%)減益の41億3千2百万円となりました。

i n 事業

「i nゼリー」は、猛暑による運動機会の減少や天災の影響もあり、主力の「エネルギー」は店頭回転が伸び悩みましたが、受験シーズンに需要を拡大した「エネルギーブドウ糖」は仕事や勉強中の飲用シーンの定着により引き続き好調に推移し、ブランド全体では前年同期実績を上回りました。「i nバー」は、引き続きブランド認知拡大と購買喚起に取り組みましたが、プロテイン摂取手段の多様化による競争環境の激化が続き、前年同期実績を下回りました。

これらの結果、i n事業全体の売上高は175億6千3百万円と前年同期実績に比べ3億円(1.7%)減となりました。

損益については、原価低減の取組みにより、営業利益は前年同期実績に比べ1億9千4百万円(4.2%)増益の48億4千7百万円となりました。

通販事業

「おいしいコラーゲンドリンク」は、当期における新規顧客獲得数は伸び悩みましたが、前年下期からの戦略的な広告投下による定期顧客基盤の拡大により、売上高は前年同期実績を上回りました。通販事業の第2の柱候補の商品である「おいしい青汁」は、着実に売上高を拡大しております。

これらの結果、通販事業全体の売上高は57億4千万円と前年同期実績に比べ3億9千万円(7.3%)増となりました。

損益については、戦略的な広告投下の影響もあり、営業利益は前年同期実績に比べ3億4千1百万円(80.9%)減益の8千万円となりました。

事業子会社

㈱アントステラは、全国の直営店において詰め放題や量り売りの販売が好調に推移したほか、大手量販店の銘店コーナーへの出店増加も寄与し、前年同期実績を上回りました。森永市場開発㈱は、円安を背景とした訪日外国人の増加や夏季休暇による来場者増加により、テーマパークにおける販売の好調が継続したほか、アンテナショップにおける販売も好調に推移し、前年同期実績を上回りました。

これらの結果、事業子会社全体の売上高は52億3千6百万円と前年同期実績に比べ6億3千1百万円(13.7%)増となりました。

営業利益は前年同期実績に比べ2千9百万円(6.6%)増益の4億6千7百万円となりました。

[国内における主な商品の前年同期比 (単位：%)]

菓子食品事業		冷蔵事業	
森永ビスケット	105	ジャンボグループ	101
ハイチュウ	112	板チョコアイス	133
森永ラムネ	128	ザ・クレープ	127
カレ・ド・ショコラ	118	アイスボックス	109
ダース	109	i n 事業	
チョコボール	101	i nゼリー	101
森永甘酒	85	i nバー	88
森永ココア	118	通販事業	
		おいしいコラーゲンドリンク	102

※表中の数値は国内販売実績にて算出

米国事業

「HI-CHEW」は、インフレによる消費低迷により、主にコンビニチャネルでの販売に影響がりましたが、既存品の容量ラインアップの拡充や新商品の発売により、取り扱いSKU数の増加に取り組んだほか、新たな販売チャネルへの取組みを強化し、前年同期実績を上回りました。ゼリー飲料「Charge1」は、引き続きスポーツイベントでのサンプリング活動をはじめとしたPR活動やインスタプロモーションの展開により、ブランド認知及び商品理解の促進を積極的に進めております。リアルチャネルでは米系小売業への導入促進に引き続き取組み、ECチャネルでは着実に売上を伸ばしております。

これらの結果、米国事業全体の売上高は109億9千4百万円と前年同期実績に比べ15億5千2百万円(16.4%)増となりました。

損益については、増収効果がありましたが、原材料価格の高騰や戦略的なマーケティング投資により、営業利益は前年同期実績に比べ1億5千4百万円(7.6%)減益の18億7千9百万円となりました。

中国・台湾・輸出等

中国では、「HI-CHEW」の販売が引き続き好調に推移しましたが、日本製品の輸入販売は苦戦しました。台湾では、「HI-CHEW」「i nゼリー」が苦戦したものの、「キャラメル」が好調に推移しました。探索・研究領域である東アジア・東南アジア・オセアニア地区や欧州においても、「HI-CHEW」の売上高を着実に拡大しております。

これらの結果、中国・台湾・輸出等全体の売上高は50億1千4百万円と前年同期実績に比べ9億6千6百万円(23.9%)増となりました。

営業利益は前年同期実績に比べ2億2千9百万円(49.8%)増益の6億8千8百万円となりました。

以上の結果、＜食料品製造＞の売上高は1,138億9千2百万円と前年同期実績に比べ8.2%増となりました。セグメント利益は134億7千4百万円と前年同期実績に比べ5億5千2百万円の減益となりました。

＜食料卸売＞

売上高は、36億2千3百万円と前年同期実績に比べ19.8%増となりました。セグメント利益は4億1千9百万円と前年同期実績に比べ3億1千6百万円の増益となりました。

＜不動産及びサービス＞

売上高は、9億2千5百万円と前年同期実績に比べ2.3%減となりました。セグメント利益は4億

1千5百万円と前年同期実績に比べ6百万円の増益となりました。

<その他>

売上高4億4百万円、セグメント利益7千7百万円であります。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における総資産の残高は2,201億2千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ35億2千万円減少しております。主な要因は、商品及び製品や原材料及び貯蔵品、DXプロジェクトの進捗によるソフトウェア仮勘定が増加した一方で、現金及び預金や受取手形及び売掛金が減少したことなどによるものであります。

負債の残高は829億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ80億8千4百万円減少しております。主な要因は、未払金や未払法人税等、流動負債のその他に含まれる設備関係未払金が減少したことなどによるものであります。

純資産の残高は1,372億1千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ45億6千4百万円増加しております。主な要因は、配当金の支払や自己株式の取得により減少した一方で、親会社株主に帰属する中間純利益の計上や為替換算調整勘定が増加したことなどによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末より2.9ポイント増加し、61.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の業績につきましては、主に国内の菓子食品事業・冷菓事業が好調であったことから、売上高は期首予想を上回る伸長となりました。増収並びに価格改定効果が順調に実現した一方で、原材料価格等の高騰影響などにより営業利益は減益となりましたが、各段階利益において期首予想は上回りました。

2025年3月期通期連結業績予想数値につきましては、当中間連結会計期間における業績並びに、下期における原材料価格等の高騰影響、国内主要事業を中心とした売上成長の継続や価格改定をはじめとした収益性改善による打ち返しなどを総合的に勘案した結果、前回公表の予想数値を上回る見通しとなりましたため、以下のとおり修正いたします。

2025年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	222,000	20,500	20,900	15,800
今回修正予想(B)	227,000	21,300	21,700	16,700
増減額(B-A)	5,000	800	800	900
増減率(%)	2.3	3.9	3.8	5.7
(参考)前期連結実績 (2024年3月期)	213,368	20,273	21,039	15,154

※業績予想の前提となる在外子会社換算レートにつきましては、1米ドル147円としております。

2025年3月期の期末配当予想につきましては、1株当たり60円に変更ありません。

なお、当該予測数値の修正に関する事項は、本日(2024年11月12日)公表いたしました「2025年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」にも記載しております。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	44,900	39,147
受取手形及び売掛金	30,623	28,859
有価証券	4,999	5,000
商品及び製品	16,939	19,213
仕掛品	615	584
原材料及び貯蔵品	11,084	12,220
未収還付法人税等	-	1
その他	8,928	9,177
貸倒引当金	△46	△48
流動資産合計	118,045	114,155
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	35,867	35,273
機械装置及び運搬具(純額)	27,031	27,091
土地	12,994	12,964
その他(純額)	4,797	4,508
有形固定資産合計	80,690	79,837
無形固定資産		
ソフトウェア	260	250
その他	1,755	3,100
無形固定資産合計	2,015	3,350
投資その他の資産		
投資有価証券	13,217	12,789
退職給付に係る資産	6,764	6,813
繰延税金資産	1,613	1,694
その他	1,330	1,516
貸倒引当金	△34	△34
投資その他の資産合計	22,891	22,780
固定資産合計	105,598	105,968
資産合計	223,644	220,124

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,002	23,869
未払金	12,720	10,776
未払法人税等	6,192	4,101
返金負債	5,720	6,059
賞与引当金	3,089	3,171
株主優待引当金	-	81
その他	13,709	8,365
流動負債合計	64,436	56,425
固定負債		
社債	9,000	9,000
長期借入金	10,000	10,000
繰延税金負債	50	-
役員株式給付引当金	115	88
環境対策引当金	149	4
退職給付に係る負債	2,677	2,862
資産除去債務	66	67
受入敷金保証金	3,557	3,558
その他	936	900
固定負債合計	26,554	26,482
負債合計	90,991	82,907
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,612	18,612
資本剰余金	17,186	17,194
利益剰余金	86,305	89,710
自己株式	△4,865	△4,969
株主資本合計	117,239	120,547
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,610	7,210
繰延ヘッジ損益	△2	△239
為替換算調整勘定	3,027	5,036
退職給付に係る調整累計額	3,327	3,129
その他の包括利益累計額合計	13,963	15,136
非支配株主持分	1,450	1,532
純資産合計	132,653	137,217
負債純資産合計	223,644	220,124

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	109,608	118,845
売上原価	63,483	70,171
売上総利益	46,125	48,673
販売費及び一般管理費	31,957	34,817
営業利益	14,167	13,855
営業外収益		
受取利息	9	46
受取配当金	186	213
補助金収入	41	107
その他	136	90
営業外収益合計	373	457
営業外費用		
支払利息	52	55
持分法による投資損失	0	101
減価償却費	23	10
その他	66	46
営業外費用合計	143	213
経常利益	14,397	14,099
特別利益		
固定資産売却益	135	246
投資有価証券売却益	139	895
特別利益合計	275	1,141
特別損失		
固定資産除売却損	199	192
その他	15	-
特別損失合計	215	192
税金等調整前中間純利益	14,457	15,047
法人税、住民税及び事業税	4,900	4,246
法人税等調整額	△827	74
法人税等合計	4,073	4,321
中間純利益	10,384	10,726
非支配株主に帰属する中間純利益	123	94
親会社株主に帰属する中間純利益	10,260	10,631

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	10,384	10,726
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,772	△400
繰延ヘッジ損益	72	△243
為替換算調整勘定	1,167	2,135
退職給付に係る調整額	△105	△195
持分法適用会社に対する持分相当額	4	-
その他の包括利益合計	2,911	1,295
中間包括利益	13,295	12,022
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	13,052	11,805
非支配株主に係る中間包括利益	242	217

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	14,457	15,047
減価償却費	4,652	4,771
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	13	13
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	47	92
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△144	△240
賞与引当金の増減額(△は減少)	△117	69
株主優待引当金の増減額(△は減少)	62	81
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6	0
環境対策引当金の増減額(△は減少)	△120	△145
受取利息及び受取配当金	△195	△259
補助金収入	△41	△107
支払利息	52	55
持分法による投資損益(△は益)	0	101
投資有価証券売却損益(△は益)	△139	△895
固定資産売却損益(△は益)	△78	△193
固定資産除却損	142	140
売上債権の増減額(△は増加)	△11,404	2,304
棚卸資産の増減額(△は増加)	892	△2,521
仕入債務の増減額(△は減少)	4,627	587
その他	2,052	△2,257
小計	14,765	16,643
利息及び配当金の受取額	195	269
利息の支払額	△51	△53
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	2,708	△6,170
補助金の受取額	251	107
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,868	10,796
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	-	△104
有価証券の取得による支出	△2,500	-
有価証券の償還による収入	-	2,500
有形固定資産の取得による支出	△4,356	△8,037
有形固定資産の売却による収入	186	473
無形固定資産の取得による支出	△1,025	△1,147
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	152	54
関係会社株式の取得による支出	-	△598
その他	△882	△424
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,427	△7,285

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△5,264	△2,455
配当金の支払額	△4,712	△4,987
非支配株主への配当金の支払額	△166	△134
その他	△244	△171
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,388	△7,749
現金及び現金同等物に係る換算差額	372	843
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△574	△3,395
現金及び現金同等物の期首残高	36,077	47,101
現金及び現金同等物の中間期末残高	35,503	43,706

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は2024年5月10日開催の取締役会決議に基づき、当中間連結会計期間において、自己株式940,000株の取得を行い、この結果、自己株式が2,368百万円増加しております。

(自己株式の消却)

当社は2024年5月10日開催の取締役会決議に基づき、2024年6月14日付で、自己株式940,000株の消却を行いました。この結果、当中間連結会計期間において、利益剰余金及び自己株式が2,237百万円減少しております。

これらの結果、当中間連結会計期間末において、利益剰余金が89,710百万円、自己株式が4,969百万円となりました。

(会計方針の変更)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前中間連結会計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食料品 製 造	食料卸売	不動産 及び サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	105,279	3,023	947	109,250	358	109,608	—	109,608
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7	124	0	133	403	536	△536	—
計	105,287	3,148	947	109,383	761	110,145	△536	109,608
セグメント利益	14,026	103	409	14,540	80	14,621	△453	14,167

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

2 セグメント利益の調整額△453百万円には、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△491百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

3 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自2024年4月1日至2024年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食料品 製 造	食料卸売	不動産 及び サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	113,892	3,623	925	118,441	404	118,845	—	118,845
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5	141	2	149	419	568	△568	—
計	113,898	3,764	927	118,590	823	119,413	△568	118,845
セグメント利益	13,474	419	415	14,309	77	14,386	△530	13,855

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

2 セグメント利益の調整額△530百万円には、セグメント間取引消去10百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△541百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

3 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社グループは、顧客との契約から生じる収益を顧客との契約に基づき、各セグメントを主要な売上管理区分に分解しております。

(単位：百万円)

報告セグメント	主な製品・地域区分	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
食料品製造	菓子食品事業	35,919	38,663
	冷菓事業	27,998	30,575
	i n 事業	17,863	17,563
	通販事業 (注) 1	5,350	5,740
	事業子会社等 (注) 1	4,657	5,339
	国内計	91,788	97,884
	米国事業	9,442	10,994
	中国・台湾・輸出等 (注) 1	4,048	5,014
	海外計	13,490	16,008
	小計	105,279	113,892
食料卸売	業務用食品の卸売	3,023	3,623
不動産及びサービス	ゴルフ場経営	375	379
その他 (注) 2		358	404
顧客との契約から生じる収益 合計		109,037	118,299
不動産及びサービス	不動産賃貸	571	546
その他の収益 合計		571	546
外部顧客への売上高 合計		109,608	118,845

(注) 1 従来、「通販事業」や「事業子会社等」の海外向けの売上高を「中国・台湾・輸出等」の区分に含めて表示しておりましたが、「2030経営計画」「2024中期経営計画」に沿った当社グループの経営管理の実態を明瞭に表示するため、当中間連結会計期間の期首より「通販事業」又は「事業子会社等」の区分に含めて表示する方法に変更しております。なお、前中間連結会計期間の顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

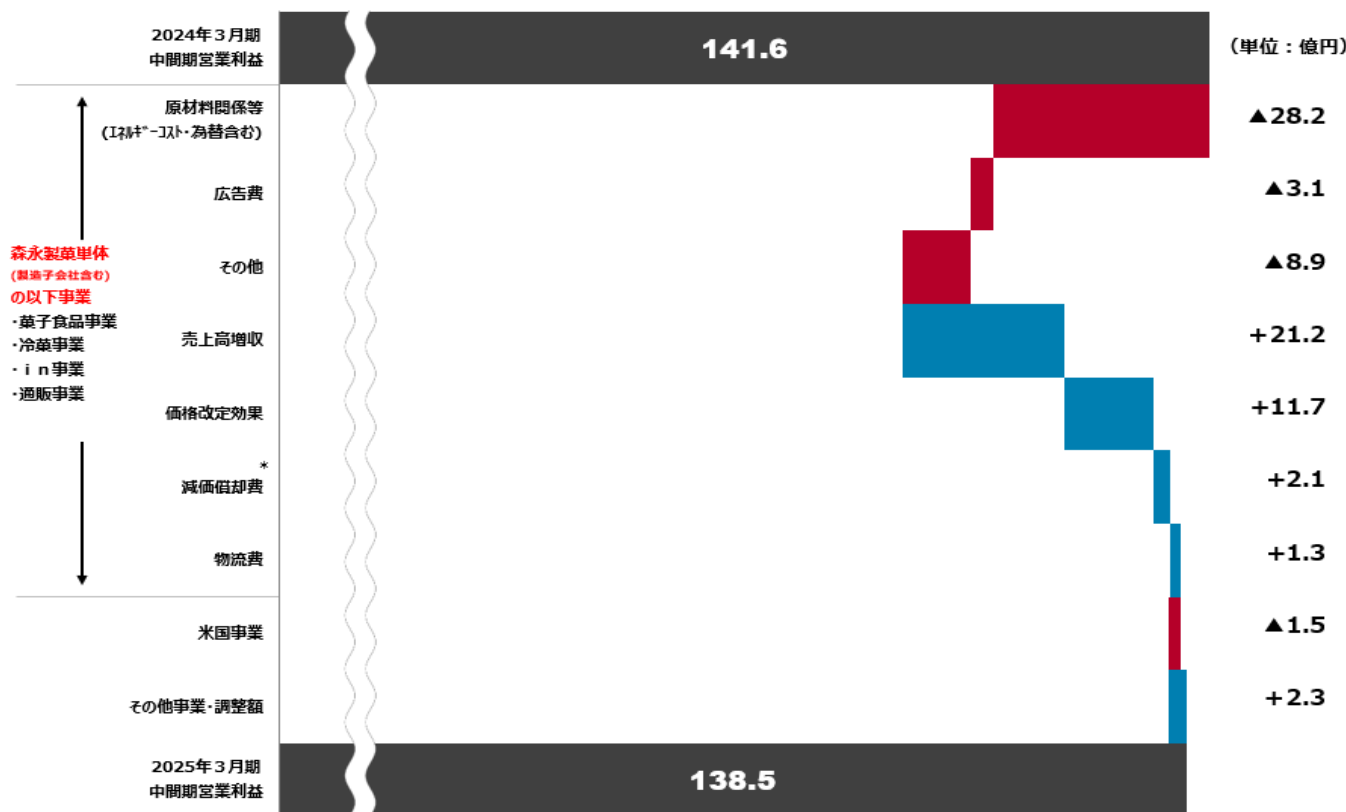
3. 補足情報

① 業績

（単位：百万円）

	2024年3月期 中間期		2025年3月期 中間期		前期比較		
	金額	売上高比率(%)	金額	売上高比率(%)	金額	売上高比率(%)	増減率(%)
売上高	109,608		118,845		9,237		8.4
売上原価	63,483	57.9	70,171	59.0	6,688	1.1	10.5
売上総利益	46,125	42.1	48,673	41.0	2,548	△ 1.1	5.5
販売費及び一般管理費	31,957	29.2	34,817	29.3	2,860	0.1	8.9
販売促進費	3,029	2.8	3,260	2.7	231	△ 0.1	7.6
広告宣伝費	4,804	4.4	5,450	4.6	646	0.2	13.4
運賃保管料	9,099	8.3	9,696	8.2	597	△ 0.1	6.6
給料手当	4,928	4.5	5,306	4.5	378	△ 0.0	7.7
賞与引当金繰入額	1,365	1.2	1,704	1.4	339	0.2	24.8
その他	8,729	8.0	9,398	7.9	669	△ 0.1	7.7
営業利益	14,167	12.9	13,855	11.7	▲ 312	△ 1.2	△ 2.2
営業外収益	373	0.3	457	0.4	84	0.1	22.3
営業外費用	143	0.1	213	0.2	70	0.1	48.9
経常利益	14,397	13.1	14,099	11.9	▲ 298	△ 1.2	△ 2.1
特別利益	275	0.3	1,141	1.0	866	0.7	314.7
特別損失	215	0.2	192	0.2	▲ 23	△ 0.0	△ 10.5
税金等調整前中間純利益	14,457	13.2	15,047	12.7	590	△ 0.5	4.1
法人税等	4,073	3.7	4,321	3.6	248	△ 0.1	6.1
中間純利益	10,384	9.5	10,726	9.0	342	△ 0.5	3.3
非支配株主に帰属する中間純利益	123	0.1	94	0.1	▲ 29	△ 0.0	△ 23.1
親会社株主に帰属する中間純利益	10,260	9.4	10,631	8.9	371	△ 0.5	3.6

② 営業利益増減分析



* 売上原価計上分のみ

③ 国内・海外売上高

（単位：百万円）

	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	増減額	増減率(%)
国内売上高	95,947	102,643	6,696	7.0
海外売上高	13,661	16,202	2,541	18.6
連結売上高	109,608	118,845	9,237	8.4

（注）売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

海外売上高比率(対連結売上高)	12.5%	13.6%
-----------------	-------	-------

④ 事業別 売上高・営業利益

（単位：億円）

報告セグメント	主な製品・地域区分	売上高				営業利益			
		2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	増減額	増減率(%)	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	増減額	増減率(%)
食料品製造	菓子食品事業	359	386	27	7.6	16	17	1	10.3
	冷菓事業	279	305	26	9.2	45	41	▲4	△8.8
	in事業	178	175	▲3	△1.7	46	48	2	4.2
	通販事業	53	57	4	7.3	4	0	▲4	△80.9
	事業子会社等	46	53	7	14.7	3	0	▲3	△76.8
	国内計	917	978	61	6.6	115	109	▲6	△5.4
	米国事業	94	109	15	16.4	20	18	▲2	△7.6
	中国・台湾・輸出等	40	50	10	23.9	4	6	2	49.8
	海外計	134	160	26	18.7	24	25	1	3.0
	小計	1,052	1,138	86	8.2	140	134	▲6	△3.9
食料卸売		30	36	6	19.8	1	4	3	303.4
不動産及びサービス		9	9	▲0	△2.3	4	4	0	1.3
その他		3	4	1	12.6	0	0	▲0	△3.1
調整額等						▲4	▲5	▲1	—
	合計	1,096	1,188	92	8.4	141	138	▲3	△2.2

（注）1 当社グループの経営管理の実態を明瞭に表示するため、2025年3月期より区分や集計方法を変更しております。なお、2024年3月期中間期の数値は当該変更を遡及適用し、変更後の区分や集計方法により作成したものを記載しております。

- 2 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。
- 3 菓子食品事業は、inブランドを冠した菓子食品の商品群が含まれております。
- 4 通販事業及び事業子会社等は海外向けの売上高が含まれております。
- 5 米国事業は中国・台湾の米国向け輸出に係る利益が含まれております。
- 6 調整額等は主に事業に帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

⑤ 設備投資、減価償却費、研究開発費

（単位：百万円）

	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	増減額
設備投資額	2,745	4,106	1,361
減価償却費	4,652	4,771	119
研究開発費	1,466	1,459	▲7

⑥ 2030経営計画における重点領域 売上高

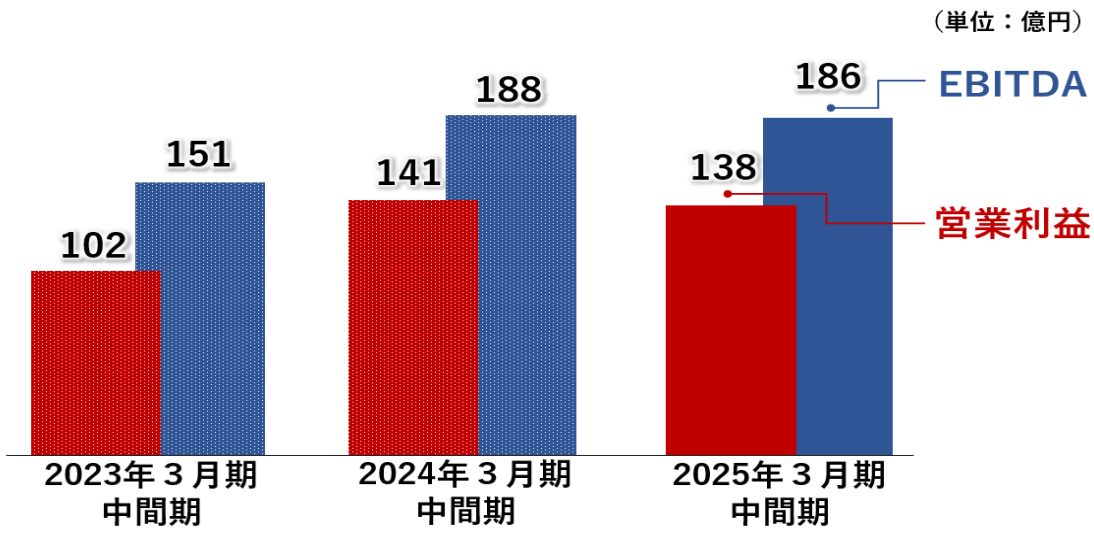
（単位：億円）

重点領域	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	増減額	増減率(%)
in事業	185	183	▲2	△1.1
冷菓事業	279	305	26	9.2
通販事業	53	57	4	7.3
米国事業	94	109	15	16.4
合計	613	656	43	7.0
重点領域売上高比率 (対連結売上高)	56.0%	55.3%		

（注）1 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

- 2 in事業はinブランドを冠した菓子食品の商品群が含まれております。
- 3 通販事業は海外向けの売上高が含まれております。

⑦ 営業利益及びEBITDA推移



(注) EBITDAは簡易版を使用→営業利益+減価償却費

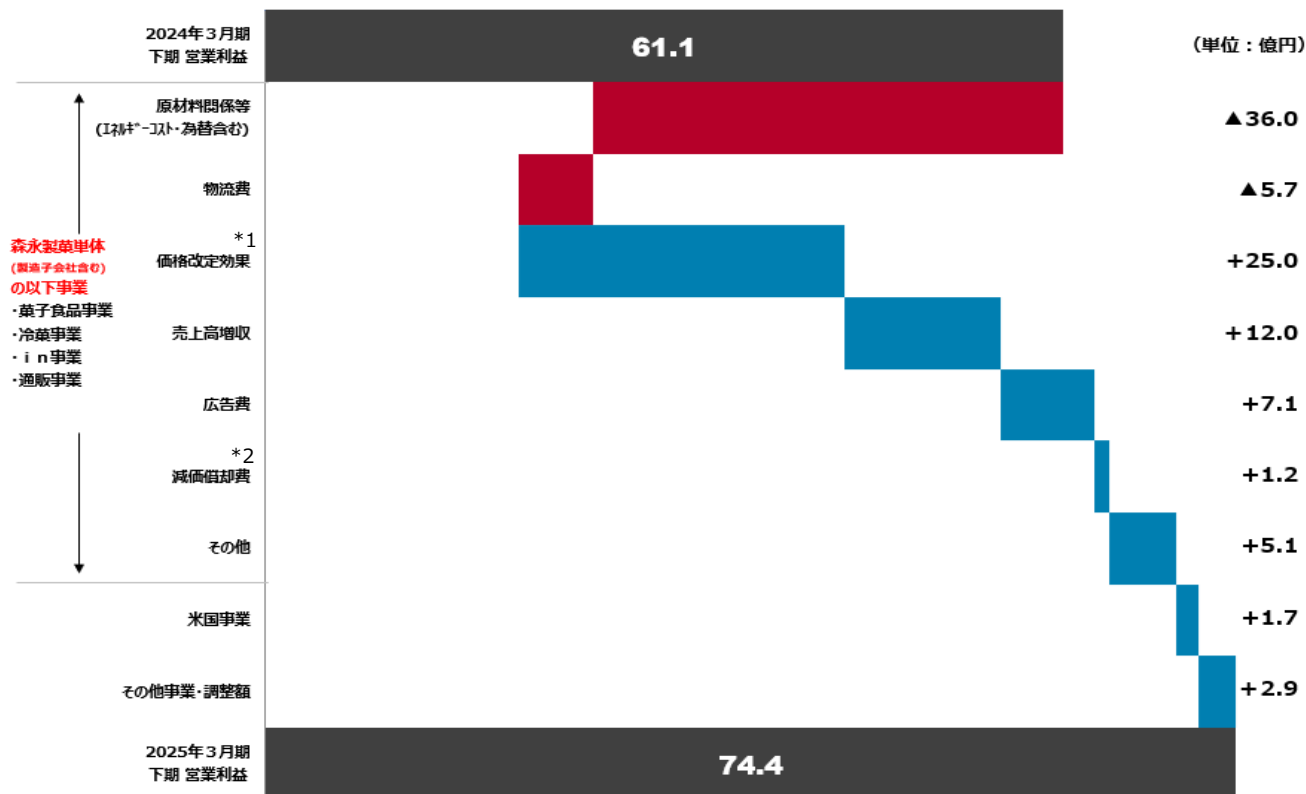
【下期予想】

① 業績

(単位:百万円)

	2024年3月期 第3・4四半期	2025年3月期 第3・4四半期 予想	増減額	増減率(%)
売上高	103,759	108,154	4,395	4.2
営業利益	6,105	7,444	1,339	21.9
経常利益	6,641	7,600	959	14.4
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,893	6,068	1,175	24.0

② 営業利益増減分析



*1 実施検討中の効果金額含む

*2 売上原価計上分のみ

③ 国内・海外売上高

(単位:百万円)

	2024年3月期 第3・4四半期	2025年3月期 第3・4四半期 予想	増減額	増減率(%)
国内売上高	90,428	94,557	4,129	4.6
海外売上高	13,331	13,597	266	2.0
連結売上高	103,759	108,154	4,395	4.2

(注) 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

海外売上高比率(対連結売上高)	12.8%	12.6%
-----------------	-------	-------

④ 事業別 売上高・営業利益

（単位：億円）

報告セグメント	主な製品・地域区分	売上高				営業利益			
		2024年3月期 第3・4四半期	2025年3月期 第3・4四半期 予想	増減額	増減率(%)	2024年3月期 第3・4四半期	2025年3月期 第3・4四半期 予想	増減額	増減率(%)
食料品製造	菓子食品事業	432	443	11	2.5	24	21	▲3	△12.3
	冷菓事業	173	184	11	5.9	2	▲2	▲4	—
	in事業	137	145	8	6.0	19	31	12	59.8
	通販事業	56	57	1	2.5	▲2	2	4	—
	事業子会社等	53	55	2	4.2	1	7	6	339.4
	国内計	853	886	33	3.8	46	61	15	31.6
	米国事業	97	98	1	0.6	12	13	1	13.8
	中国・台湾・輸出等	34	35	1	4.1	0	▲3	▲3	—
	海外計	131	133	2	1.5	12	9	▲3	△18.0
小計	985	1,020	35	3.5	58	71	13	21.3	
食料卸売		38	47	9	22.9	2	4	2	49.1
不動産及びサービス		9	9	0	1.0	4	4	0	0.2
その他		3	3	0	4.5	0	0	▲0	△11.5
調整額等						▲5	▲5	▲0	—
合計		1,037	1,081	44	4.2	61	74	13	21.9

(注)1 当社グループの経営管理の実態を明瞭に表示するため、2025年3月期より区分や集計方法を変更しております。なお、2024年3月期の数値は当該変更を遡及適用し、変更後の区分や集計方法により作成したものを記載しております。

- 2 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。
- 3 菓子食品事業及び冷菓事業は、inブランドを冠した菓子食品及び冷菓の商品群が含まれております。
- 4 通販事業及び事業子会社等は海外向けの売上高が含まれております。
- 5 米国事業は中国・台湾の米国向け輸出に係る利益が含まれております。
- 6 調整額等は主に事業に帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

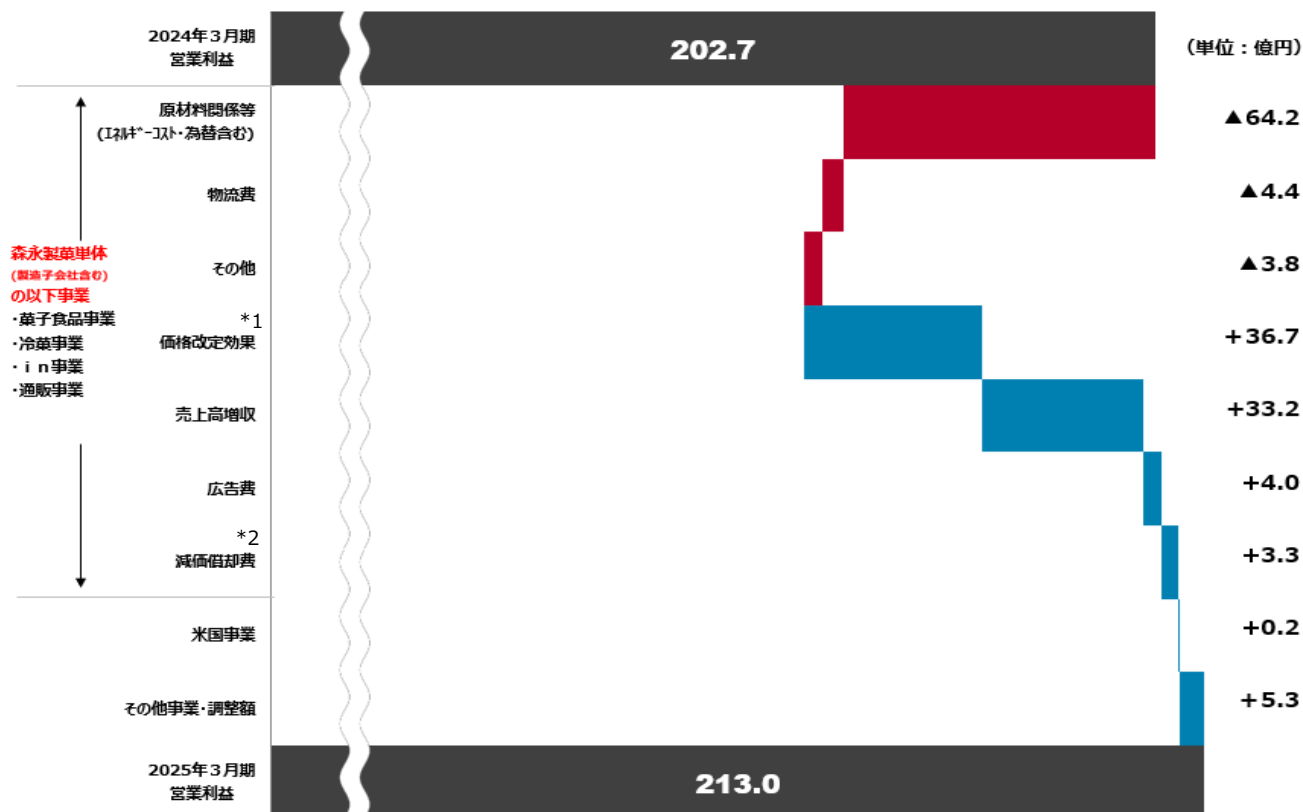
【通期予想】

① 業績

（単位：百万円）

	2024年3月期	2025年3月期 予想	増減額	増減率(%)
売上高	213,368	227,000	13,632	6.4
営業利益	20,273	21,300	1,027	5.1
経常利益	21,039	21,700	661	3.1
親会社株主に帰属する当期純利益	15,154	16,700	1,546	10.2

② 営業利益増減分析



*1 実施検討中の効果金額含む

*2 売上原価計上分のみ

③ 事業別 売上高・営業利益

（単位：億円）

報告セグメント	主な製品・地域区分	売上高				営業利益			
		2024年3月期	2025年3月期 予想	増減額	増減率(%)	2024年3月期	2025年3月期 予想	増減額	増減率(%)
食料品製造	菓子食品事業	791	830	39	4.8	40	39	▲1	△3.3
	冷菓事業	453	490	37	7.9	48	39	▲9	△19.1
	in事業	315	321	6	1.6	66	80	14	20.8
	通販事業	109	115	6	4.8	2	3	1	81.3
	事業子会社等	99	109	10	9.1	4	8	4	71.4
	国内計	1,771	1,865	94	5.3	162	170	8	5.2
	米国事業	191	208	17	8.4	32	32	0	0.4
	中国・台湾・輸出等	74	86	12	14.8	4	3	▲1	△33.4
	海外計	266	294	28	10.2	37	35	▲2	△3.9
	小計	2,038	2,159	121	5.9	199	206	7	3.5
食料卸売		69	84	15	21.6	3	8	5	119.1
不動産及びサービス		19	19	▲0	△0.6	8	8	0	0.7
その他		7	8	1	8.4	1	1	▲0	△6.8
調整額等						▲9	▲11	▲2	—
合計		2,133	2,270	137	6.4	202	213	11	5.1

(注)1 当社グループの経営管理の実態を明瞭に表示するため、2025年3月期より区分や集計方法を変更しております。なお、2024年3月期の数値は当該変更を遡及適用し、変更後の区分や集計方法により作成したものを記載しております。

- 2 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。
- 3 菓子食品事業及び冷菓事業は、inブランドを冠した菓子食品及び冷菓の商品群が含まれております。
- 4 通販事業及び事業子会社等は海外向けの売上高が含まれております。
- 5 米国事業は中国・台湾の米国向け輸出に係る利益が含まれております。
- 6 調整額等は主に事業に帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。